

事業紹介資料

あらゆるトイレの個室にて
生理用品を取得可能にするなど
「生理ライフ」を快適にし、
生理になる人のモビリティを向上

オモテテ株式会社

2022.07





事業テーマ、事業目的

事業テーマ

月経・PMS、妊娠・不妊、婦人科疾患、ヘルスケアリテラシー、
その他：生理になる人の“モビリティ（精神的・身体的・社会的な自由の向上）”

事業目的

生理になる人のモビリティ向上を促し、
積極的な経済活動（職場での活躍の後押し）・社会参加を促す。

手段（実現方法）

生理用品をあらゆるトイレの個室にて取得可能にするサービス unfre. (アンフリ)を
展開していくことで、生理ライフ（生理期間中やその前後の暮らし）を
社会として共に支えるインフラを構築する。



事業設計の背景：見逃されてきたニーズ

トイレットペーパーを持ち歩くことが当たり前の社会だったら？

(あるいは事前に提供先が把握できなかったら？)

- ・常にトイレットペーパーを持ち歩かなければいけません。
- ・忘れたあるいは使い切ってしまった場合、購入しなければいけません。
- ・トイレ内で気づいた場合、他のもので代用するしかありません。

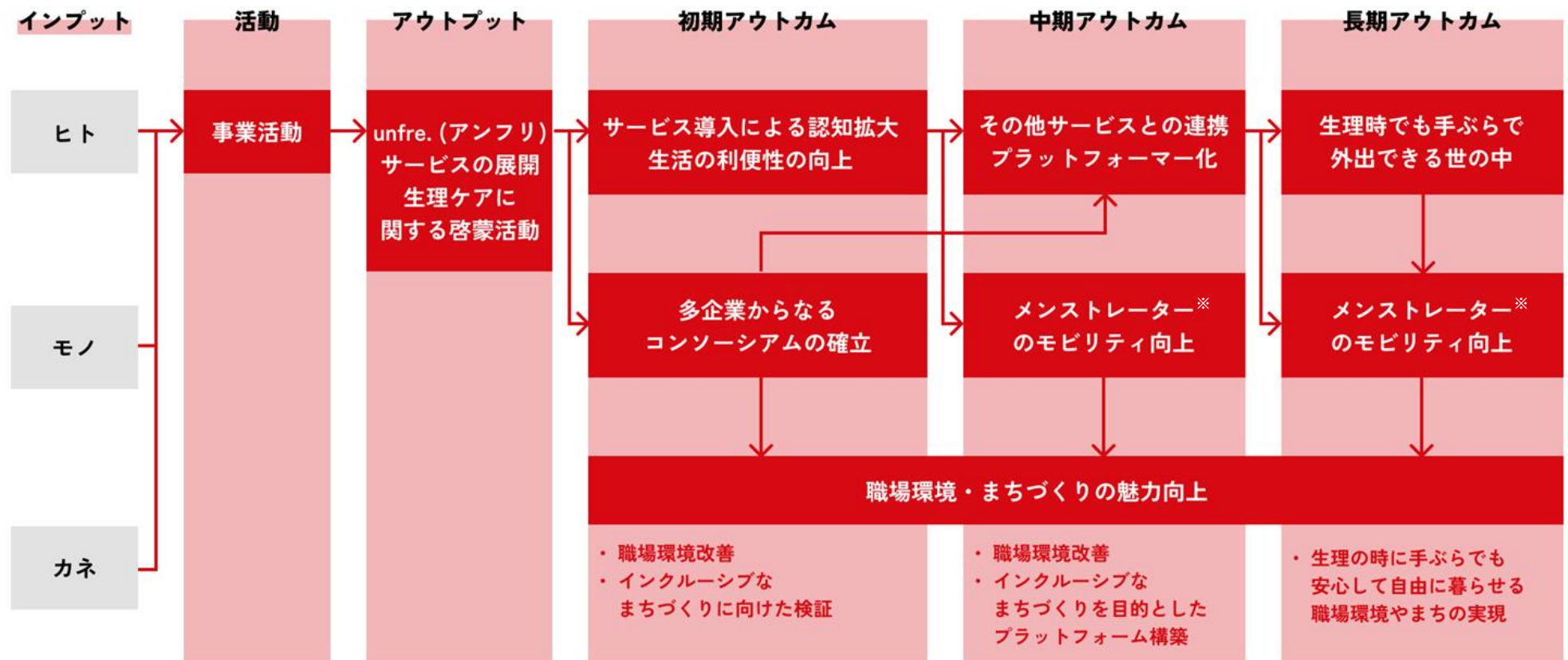
生理用品についてはこれが今の当たり前。ただ、よりペインが大きいです。

- ・多くの日本人はトイレットペーパーも生理用品も購入する余裕がありますが、それでも実際利用する場であるトイレの個室で提供した方が便利・安心です。
- ・トイレットペーパーとは違い、生理用品だけ「自己責任」とされてきました。

なぜ生理用品が提供されていないことは「よりペインが大きい」のか？

- ・生理は我慢をすることが不可能：**忘れた時の緊急性＝高い**
- ・トイレ外で履き続ける必要性：**日々の居心地や自由への影響＝高い**

事業目標 (中長期目標を含むロジックモデル)



※生理用品を使用する方を指しています。

実施内容 (概要及び計画値含む)・実施体制・実施スケジュール

実施概要

1. unfre. (アンフリ) サービス開発
2. unfre. (アンフリ) サービス実証実験及びその導入前後のアンケート・インタビュー調査

実施体制

代表団体：オモテテ株式会社
協力団体：各設置先企業 調整中

実施スケジュール

2023

6 7 8 9 10 11 12 1 2 3

開発

アプリ開発

ハードウェア量産設計

ハードウェア量産

サービス及び そのアンケートなど

参加企業との調整
& 事前アンケート

小規模での実証実験
準備期間を含む

事後アンケート
& インタビュー

unfre. BOX (仮称) 導入
サービス運用開始

効果検証・分析



今年度の成果指標および成果測定の方法

成果指標

- A. アンケート対象者のWHO-HPQスコアの変化
- B. 勤務先での安心感など精神的自由さ (主に生理期間中)
- C. サービス導入先施設数
- D. 協力先 (契約) 企業数
- E. BOXの設置台数、設置の分布 (密度)
- F. サービスユーザー数、アプリダウンロード数、利用頻度
- G. 展開先エリア (自治体) 数
- H. 共通指標② (健康課題とキャリアに関する指定指標)

成果測定の方法

測定方法①

アンケート・ インタビュー調査

対象となる成果指標：
A, B, H

測定方法②

サービスの展開/営業/ 契約状況の記録等

対象となる成果指標：
C, D, E, G

測定方法③

アプリによりシステム上 取得可能なデータの分析

対象となる成果指標：
F